

# 令和5年度第2回岩手県職業能力開発審議会

日時 令和6年2月13日(火)14時00分～

場所 岩手県水産会館 5階 大会議室

## 次 第

### 1 開 会

### 2 あいさつ

### 3 議 題

#### (1) 報告

ア 県立職業能力開発施設における就職内定状況、募集計画及び入校者数の推移について(資料1-1、資料1-2)

イ 岩手県卓越技能者表彰、技能五輪全国大会、全国障害者技能競技大会について(資料2、資料3)

#### (2) 協議・意見交換

ア デジタルリスキリング推進事業について(資料4)

イ 今後の県立職業能力開発施設のあり方について(資料5)

### 4 その他

### 5 閉 会

#### ※ 資 料

資料1-1 令和5年度県立職業能力開発施設における就職内定状況

資料1-2 県立職業能力開発施設募集計画及び入校者数の推移

資料2 令和5年度岩手県卓越技能者表彰について

資料3 第61回技能五輪全国大会、第43回全国障害者技能競技大会について

資料4 デジタルリスキリング推進事業について

資料5 今後の県立職業能力開発施設のあり方について

令和5年度第2回岩手県職業能力開発審議会 出席者名簿

1 委員

構成区分	氏名	所属	職名	備考
学識経験者	伊藤 智恵子	職業訓練法人釜石職業訓練協会	事務局長	
	岡田 寛史	公立大学法人岩手県立大学総合政策学部	教授	
	齊藤 真理子	学校法人スコール 盛岡スコール高等学校	校長	欠席
	瀬戸 和彦	岩手県高等学校長協会	工業部会長	欠席
	西村 文仁	国立大学法人岩手大学理工学部	教授	
関係事業主代表	工藤 昌代	株式会社ホップス	代表取締役	
	田鎖 健一	株式会社エフビー	代表取締役社長	
	千葉 智充	株式会社千葉建設	代表取締役社長	欠席
	引地 千恵	有限会社開運興業	代表取締役	
	吉田 ひさ子	有限会社いわてにつかコミュニティ企画	代表取締役	
関係労働者代表	小林 斉	電機連合岩手地域協議会	事務局長	
	佐々木 正人	日本労働組合総連合会岩手県連合会	副事務局長	
	佐藤 茂生	岩手県東北電力関連産業労働組合総連合	会長	
	菅原 寿美子	岩手県社会福祉事業団職員労働組合	特別執行委員	欠席
	豊嶋 昌勝	全日本自動車産業労働組合総連合会岩手地方	議長	欠席

※氏名は構成区分毎に五十音順

2 特別委員

特別委員	澁谷 広記	岩手労働局	職業安定部長	
	多田 拓章	岩手県教育委員会事務局 学校教育室	首席指導主事兼 産業・復興教育課長	

3 事務局等

事務局	高橋 孝政	岩手県商工労働観光部	副部長兼商工企画室長	
	三河 孝司	岩手県商工労働観光部定住推進・雇用労働室	室長	
	菅原 俊樹	岩手県商工労働観光部定住推進・雇用労働室	労働課長	
	金 今 邦 仁	岩手県商工労働観光部定住推進・雇用労働室	特命課長	
	飯坂 覚	岩手県商工労働観光部定住推進・雇用労働室	主任主査	
	佐々木 克幸	岩手県商工労働観光部定住推進・雇用労働室	主査	
	小野寺 絵理	岩手県商工労働観光部定住推進・雇用労働室	主任	
	上野 桃花	岩手県商工労働観光部定住推進・雇用労働室	主事	

令和5年度県立職業能力開発施設における就職内定状況

資料1-1

施設名	訓練科名	課程	訓練期間	入校者数	修了予定者数	就職希望者の状況				進学者等	R05.12末現在		【参考】R04.12末現在		【参考】令和5年度及び令和4年度施設別求人状況(12月末現在)																																																																							
						就職内定者数			未定者		就職率	うち県内就職率	就職率	うち県内就職率	求人状況				増減(R05-R04)																																																																			
						県内	県外	計							県内		県外		合計		増減																																																																	
									R04		R05	R04	R05	R04	R05	県内	県外																																																																					
産業技術短期大学校	本校	メカトロニクス技術科	2年	21	19	16	0	16	2	◆1	88.9%	100.0%	100.0%	93.3%	79	79	90	90	101	101	111	111	180	180	201	201	11	11	10	10																																																								
																															電子技術科	22	22	19	2	21	0	◆1	100.0%	90.5%	93.3%	92.9%	81	81	96	96	117	117	121	121	198	198	217	217	15	15	4	4																												
																																																											建築科	22	22	18	2	20	0	◆2	100.0%	90.0%	100.0%	84.2%	94	94	97	97	63	63	85	85	157	157	182	182	3	3	22	22
																																																											情報技術科	23	23	20	3	23	0	0	100.0%	87.0%	94.7%	66.7%	65	65	77	77	91	91	101	101	156	156	178	178	12	12	10	10
	産業技術専攻科	1年	5	3	2	0	2	0	*1	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	62	62	69	69	64	64	85	85	126	126	154	154	7	7	21	21																																																									
	小計				113	107	84	7	91	11	5	89.2%	92.3%	90.0%	77.8%	438	438	491	491	492	492	566	566	930	930	1,057	1,057	53	53	74	74																																																							
	水沢校	生産技術科	2年	13	13	9	4	13	0	0	0	100.0%	69.2%	87.5%	71.4%	102	102	105	105	117	117	121	121	219	219	226	226	3	3	4	4																																																							
																																電気技術科	7	6	6	0	6	0	0	100.0%	100.0%	91.7%	81.8%	110	110	119	119	138	138	137	137	248	248	256	256	9	9	△1	△1																											
																																																												建築設備科	15	15	13	2	15	0	0	100.0%	86.7%	100.0%	81.8%	122	122	122	122	116	116	116	116	238	238	238	238	0	0	0
		小計				35	34	28	6	34	0	0	100.0%	82.4%	93.5%	79.3%	334	334	346	346	371	371	374	374	705	705	720	720	12	12	3	3																																																						
計				148	141	112	13	125	11	5	91.9%	89.6%	90.9%	78.2%	772	772	837	837	863	863	940	940	1,635	1,635	1,777	1,777	65	65	77	77																																																								
千厩高等技術専門校	自動車システム科	普通(高卒)	2年	17	16	16	0	16	0	0	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	31	153	33	115	61	829	64	825	92	982	97	940	2	△38	3	△4																																																								
																															計				17	16	16	0	16	0	0	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	31	153	33	115	61	829	64	825	92	982	97	940	2	△38	3	△4																									
宮古高等技術専門校	自動車システム科	普通(高卒)	2年	17	13	12	1	13	0	0	100.0%	92.3%	100.0%	100.0%	32	156	35	130	62	1,063	60	890	94	1,219	95	1,020	3	△26	△2	△173																																																								
																															金型技術科	1年	5	5	4	1	5	0	0	100.0%	80.0%	100.0%	100.0%	14	31	14	53	0	0	7	503	14	31	21	556	0	22	7	503																											
	計				22	18	16	2	18	0	0	100.0%	88.9%	100.0%	100.0%	46	187	49	183	62	1,063	67	1,393	108	1,250	116	1,576	3	△4	5																														330																										
二戸高等技術専門校	自動車システム科	普通(高卒)	2年	9	8	8	0	8	0	0	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	35	162	50	372	57	859	58	656	92	1,021	108	1,028	15	210	1	△203																																																								
																															建築科	2年	8	7	7	0	7	0	0	100.0%	100.0%	77.8%	100.0%	21	37	18	45	21	249	14	118	42	286	32	163	△3	8	△7	△131																											
	計				17	15	15	0	15	0	0	100.0%	100.0%	88.9%	100.0%	56	199	68	417	78	1,108	72	774	134	1,307	140	1,191	12	218	△6																														△334																										
合計				204	190	159	15	174	11	5	94.1%	91.4%	92.2%	84.4%	905	1,311	987	1,552	1,064	3,863	1,143	3,932	1,969	5,174	2,130	5,484	82	241	79	69																																																								

注1) ◆は進学者 建築1名が関東職業能力開発大学校、その他3名は東北職業能力開発大学校 \*は、企業派遣の訓練生数  
 注2) 県内就職率:県内に事業所がある企業への就職率

県立職業能力開発施設募集計画及び入校者数の推移

資料1-2

職業能力開発施設名	訓練科	課程	訓練期間	令和3年度		令和4年度		令和5年度		3ヶ年間の平均入校率※1	
				定員	入校	定員	入校	定員	入校		
産業技術短期大学校	本校	専門(高卒)	メカトロニクス技術科	2年	20	18	20	21	20	17	93.3%
			電子技術科	2年	20	18	20	22	20	20	100.0%
			建築科	2年	20	23	20	22	20	22	111.7%
			産業デザイン科	2年	20	21	20	20	20	21	103.3%
			情報技術科	2年	20	20	20	23	20	24	111.7%
		産業技術専攻科	応用短期	1年	10	3	10	3	10	5	36.7%
	計			-	110	103	110	111	110	109	97.9%
	水沢校	専門(高卒)	生産技術科	2年	20	8	20	13	20	11	53.3%
			電気技術科	2年	20	13	20	7	20	16	60.0%
			建築設備科	2年	20	12	20	15	20	11	63.3%
計			-	60	33	60	35	60	38	58.9%	
計			-	170	136	170	146	170	147	84.1%	
千厩高等技術専門校	自動車システム科	普通(高卒)	2年	20	13	20	17	20	13	71.7%	
	計			-	20	13	20	17	20	13	71.7%
宮古高等技術専門校	自動車システム科	普通(高卒)	2年	15	9	15	17	15	11	82.2%	
	金型技術科		1年	10	0	10	6	10	5	36.7%	
	計			-	25	9	25	23	25	16	64.0%
二戸高等技術専門校	自動車システム科	普通(高卒)	2年	20	10	20	9	20	10	48.3%	
	建築科		2年	15	10	15	8	15	5	51.1%	
	計			-	35	20	35	17	35	15	49.5%
合計			-	250	178	250	203	250	191	76.3%	

令和6年度		令和7年度(計画)	
訓練期間	募集定員	訓練期間	募集定員
2年	20	2年	20
2年	20	2年	20
2年	20	2年	20
2年	20	2年	20
2年	20	2年	20
1年	10	1年	10
-	110	-	110
2年	20	2年	20
2年	20	2年	20
2年	20	2年	20
-	60	-	60
-	170	-	170
2年	20	2年	20
1年	10	1年	10
-	25	-	25
2年	20	2年	20
2年	15	2年	15
-	35	-	35
-	250	-	250

※1 定員に対する入校生数の割合(令和3年度~令和5年度の平均値)

## 令和5年度 岩手県卓越技能者表彰について

技能尊重気運を醸成し、技能労働者の地位及び技能水準の向上を図り、本県産業経済の発展に寄与することを目的として、卓越技能者表彰については昭和51年度から、青年卓越技能者表彰については平成8年度から、国際技能大会優秀者表彰については平成29年度から実施しているもの。

## 1 卓越技能者（7人）

氏名	年齢	職種	勤務先	推薦団体
丹 則夫	55	金型製造工	トヨタ自動車東日本株式会社岩手工場	一般社団法人岩手県工業クラブ
植田 紀子	71	染物・仕上工	植田紀子織物工房	盛岡市
熊谷 利夫	70	清酒製造工	独立行政法人岩手県工業技術センター	紫波町
和賀 総	72	日本料理調理人	料亭 新茶家	一般社団法人岩手県調理師会
雫石 剛	60	西洋料理調理人	トラットリア イル・クオーレ	一般社団法人全日本司厨士協会 北部地方岩手県本部
富士原 文隆	67	漆器工	八幡平市安代漆工技術研究センター	岩手県漆器協同組合
樋口 伸幸	49	ソフトウェア開発技術者	盛岡セイコー工業株式会社	一般社団法人岩手県工業クラブ

## 2 青年卓越技能者（9人）

氏名	年齢	職種	勤務先	推薦団体
菊池 翔	39	鍛造工	鉾屋	盛岡市
勝又 麻美	39	電気めっき工	株式会社薄衣電解工業 北上工場	北上市
相馬 善行	41	プラスチック製品製造工	盛岡セイコー工業株式会社	一般社団法人岩手県工業クラブ
手嶋 大介	41	一般機械器具検査工	株式会社やまびこ 盛岡事業所	一般社団法人岩手県工業クラブ
及川 吉春	40	電気配線工事作業員	北上電工株式会社	北上市
佐藤 大治郎	41	建築大工	佐藤工夢店株式会社	職業訓練法人東磐職業訓練協会
関口 大樹	42	造園師	株式会社せきぐち緑化	一般社団法人岩手県造園組合
佐藤 竜矢	38	清酒製造工	磐乃井酒造株式会社	岩手県酒造組合
三上 奈津希	35	漆器工	安比漆器工房	岩手県漆器協同組合

## 3 表彰式

- (1) 開催日 令和5年11月13日（月）  
 (2) 会場 いわて県民情報交流センター（アイーナ） 7階小田島組☆ほ～る  
 ※ 受賞者の作品展示を会場入口前ホワイエにて実施

## 4 近年の受賞者数（（ ）内は令和5年度までの累計）

年度	卓越技能者（365名）	青年卓越技能者（247名）	国際技能大会優秀者（2名）
R4	8名	11名	0名
R3	8名	10名	0名
R2	9名	7名	0名
R1	8名	5名	1名

## 第 61 回技能五輪全国大会について

技能五輪全国大会は、青年技能者の技能レベルの日本一を競う技能競技大会で、技能尊重気運の醸成を図ることを目的とし、毎年開催されています。参加資格は、大会開催年に 23 歳以下（一部職種を除く）であることが条件となっています。

- 1 開催日程：令和 5 年 11 月 17 日（金）～21 日（火）
- 2 主 催：厚生労働省、中央職業能力開発協会
- 3 開催地：愛知県（愛知県国際展示場他）
- 4 競技職種：41 職種
- 5 出場選手

	競技職種名	選手名	所属企業等	備考
1	配管	鈴木 真斗	株式会社興盛工業所 岩手支店	敢闘賞
2	配管	藤谷 歩輝	岩手県立産業技術短期大学校水沢校	
3	配管	川村 来夢	岩手県立産業技術短期大学校水沢校	
4	工場電気設備	佐藤 匠	岩手県立産業技術短期大学校水沢校	
5	工場電気設備	伊藤 諄嶺	岩手県立産業技術短期大学校水沢校	
6	建築大工	菊地 右人	有限会社斉藤工務店	
7	建築大工	丹内 凌	有限会社エムクラフト	
8	建築大工	山本 吏央	有限会社藤原建築(宮古職業訓練協会)	
9	建築大工	工藤 恵大	有限会社空創舎(二戸職業訓練協会)	敢闘賞
10	建築大工	竹本 創哉	有限会社建築クボタ(二戸職業訓練協会)	敢闘賞
11	フラワー装飾	八重樫 のどか	岩手県立農業大学校	欠場
12	自動車工	山本 直也	岩手県立二戸高等技術専門学校	
13	日本料理	畠山 葵	盛岡スコーレ高等学校	
14	時計修理	山崎 理沙	盛岡セイコー工業株式会社	
15	時計修理	畠山 七之進	盛岡セイコー工業株式会社	
16	時計修理	佐々木 啓太	盛岡セイコー工業株式会社	銀賞

## 6 近年の入賞状況

年度	回数	開催県	出場職種	出場者数	入賞状況
R5	61 回	愛知県	7 職種	15 名	3 職種 4 名 (銀賞 1 名、敢闘賞 3 名)
R4	60 回	千葉県	9 職種	13 名	4 職種 5 名 (金賞・厚生労働大臣賞 1 名、敢闘賞 4 名)
R3	59 回	東京都	8 職種	13 名	4 職種 6 名 (銅賞 4 名、敢闘賞 2 名)
R2	58 回	愛知県	6 職種	12 名	3 職種 5 名 (金賞 2 名、銅賞 3 名) 全国技能士会連合会会長賞

## 第 43 回全国障害者技能競技大会について

全国障害者技能競技大会（全国アビリンピック）は、障がいのある方々が日頃培った技能を競い合う大会で、企業や一般の方々に障がい者への理解と認識を深め、その雇用の促進等を図ることを目的として毎年開催されています。参加資格は、大会開催年に15歳以上であることが条件となっています。

1 開催日程：令和5年11月17日（金）～19日（日）

2 主催：（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構

3 開催地：愛知県（愛知県国際展示場他）

4 競技種目：25 種目

5 出場選手

	競技種目名	選手名	所属企業等	備考
1	ワード・プロセッサ	尾野 多恵	株式会社岩手銀行	
2	表計算	島津 貴悠	—	銅賞
3	喫茶サービス	佐々木 由美子	株式会社一步 カフェアンパス	銀賞
4	ビルクリーニング	熊谷 鷹我	岩手県立前沢明峰支援学校	
5	DTP	北田 日菜子	就労移行支援事業所ココエール	
6	オフィスアシスタント	吉川 知華	岩手県立盛岡峰南高等支援学校	
7	木工	若子内 壘	有限会社吉田研磨工業	銀賞
8	パソコン操作	藤戸 雅也	岩手県庁ふるさと振興部調査統計課	銀賞
9	写真撮影	木下 淳	—	

6 近年の入賞状況

年度	回数	開催県	出場種目	出場者数	入賞状況
R5	43 回	愛知県	9 種目	9 名	4 種目 4 名（銀賞 3 名、銅賞 1 名）
R4	42 回	千葉県	8 種目	8 名	3 種目 3 名（銀賞 1 名、努力賞 2 名）
R3	41 回	東京都	9 種目	10 名	2 種目 2 名（銅賞 1 名、努力賞 1 名）
R2	40 回	愛知県	6 種目	6 名	1 種目 1 名（銅賞 1 名）

## デジタルリスキング推進事業について（R5新規事業）

## 1 事業の目的

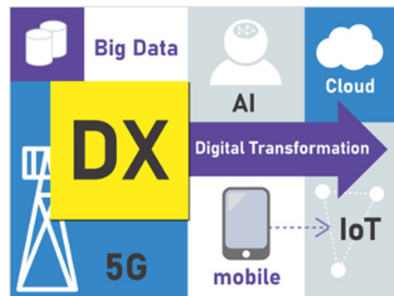
DXの推進により、企業の経営課題である生産性の向上、業務の効率化、働き方改革等を実現し、業績の向上やビジネスの創造や革新に繋げるために、その核となるデジタル人材の育成を図るとともに、労働者のキャリアアップの実現、新しい職業への移行等をすすめるもの。

## 国が示すデジタル社会における人材像

- デジタル社会においては、全ての国民が、役割に応じた相応のデジタル知識・能力を習得する必要がある
- 若年層は小中高の情報教育を通じて一定レベルの知識を習得する。現役のビジネスパーソンの学び直し（＝リスキング）が重要

## リスキングの必要性

DXやSDGsによる社会変化



デジタル化で  
新たな業務が  
創出される

従業員が持っていたこれまでの  
スキルが通用しなくなる



- ・費用・予算を確保できない
- ・デジタル人材やDX人材が不足している
- ・デジタルやDXに関して学ぶ機会・場所がない
- ・DXは必要、でも、何をやればいいのか？
- ・デジタル化推進・加速の足がかりを得たい



岩手県  
デジタル  
リスキング

新たなスキルを身につけさせること  
で企業の持続的成長へ



- ・生産性や業務効率の向上
- ・人材不足の解消やコストの削減
- ・従業員満足度やキャリアの発展が可能

## 2 事業の状況

<当初予算の概要> 全体事業費 7,537千円（内訳：委託費7,462千円、旅費75千円）

## (1) プログラムの概要

- DXスキルの習得（2種類（初級・中級）のコース設定）
- 企業におけるクラウドやアプリを利用した、業務効率化等の実践研修を行う
- アフターフォローにより、デジタルツールの利活用による業務改善の推進を図る
- 県内で働く方を対象に無料で実施



(2) 実施状況

	初級コース (DXの基本を学びたい方)	中級コース (業務に具体的に活用したい方)	事後 アンケート
習得できるスキル	業務効率があがるデジタルツールの利用方法	業務自動化ツールの利用方法、業務アプリの開発方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社がどのあたりのDXを狙うべきかを検討するバックデータになった、</li> <li>・業務フロー見直しに向けての目的設定が難しい、</li> <li>・企業での成功例などを詳しく知りたい、等</li> </ul>
企業等が導入可能な業務改善例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルを業務に活用</li> <li>・クラウドを使った情報の一元管理</li> <li>・スケジュール管理(日報管理)</li> <li>・データの自動集計・分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DXによる自社の課題解決</li> <li>・書類作成等の自動化や省力化</li> <li>・集計業務報告等手入力作業の自動化</li> </ul>	
実施時期	盛岡) アイーナ、マリオス、奥州) 奥州商工会議所江刺支所、Zホール		
実施日	盛岡) 7月、奥州) 10月	盛岡) 8月～9月、奥州) 11月～12月	
受講時間	12時間(8時間×1日、4時間×1日)	24時間(8時間×2日、4時間×2日)	
申込者、受講者 (定員各30名)	盛岡) 6名申込、6名受講(うちオンライン2名) 奥州) 12名申込、10名受講(うちオンライン3名)	盛岡) 8名申込、8名受講(うちオンライン2名) 奥州) 15名申込、9名受講(うちオンライン2名)	

(3) 追加開催

1月30日から2月27日かけて計5回オンデマンドライブにより、労働者のキャリアアップに資する講座等を追加開催する。  
(ペーパーレス化・デジタル化推進スキルアップコース、データ可視化・分析スキルアップコースなど)

3 令和6年度計画

<当初予算の概要> 全体事業費 8,940千円 (R5比+1,403千円)

経営者向けセミナー：従業員スキルアップを誘導するため、デジタルマインドセットを行うセミナーを開催。

労働者向けセミナー：5つのセミナーテーマ(デジタルリーダーシップ養成、業務アプリの実践等)を用意し、対面とオンラインでそれぞれ開催する。

5テーマ(1回10時間)×10名×2回(対面、オンライン)＝100名受講を計画。

# 今後の県立職業能力開発施設のあり方について

資料 5

## 1 県立職業能力開発施設とは

職業能力開発促進法に基づき、労働者が段階的かつ体系的に職業に必要な技能及びこれに関する知識を習得することができる施設（職業能力開発校、職業能力開発短期大学校）を設置して、当該施設の区分に応じ職業訓練を行うもの。

施設名	職業能力開発校	職業能力開発短期大学校
施設	千厩校、宮古校、二戸校の3校	矢巾校、水沢校の2校
訓練内容	普通職業訓練（右に規定する高度職業訓練以外の職業訓練をいう。）で長期間及び短期間の訓練課程を行う。	高度職業訓練（労働者に対し、職業に必要な高度の技能及びこれに関する知識を習得させるための職業訓練をいう。以下同じ。）で長期間及び短期間の訓練課程（厚生労働省令で定める長期間の訓練課程を除く。）を行うもの。
新規学卒者訓練	・高卒者を対象とした1年又は2年課程。・産技短卒や在職者を対象とした応用短期課程。	
在職者訓練	・企業が必要とする人材の育成支援、個人の能力開発を支援する短期課程訓練〔訓練期間－2日間・12時間〕 ・産技短矢巾校、水沢校（水沢、大船渡）、宮古校、二戸校（久慈、二戸）	
離職者等の訓練（委託）	・公共職業安定所の訓練受講の指示等を受けた求職者に対して、早期再就職を支援するための訓練を民間職業訓練法人等に委託	

## 2 県立職業能力開発施設の状況

施設名	構成施設（建築年）	設置学科
産技短（本校）	本館棟（H8）、研究棟（H8）、体育館（H8）、寄宿舍（H8）	メカトロニクス技術科、電子技術科、建築科、産業デザイン科、情報技術科
産技短（水沢校）	管理棟（S63）、実験棟（S63）、体育館（H1）、寄宿舍（H1）	生産技術科、電子技術科、建築設備科
千厩校	管理棟（S40）、実習棟（S39）、体育館（S55）、寄宿舍（S40）	自動車システム科
宮古校	管理棟（S48）、実習棟（S48）、体育館（S53）、寄宿舍（S48）	自動車システム科、金型技術科
二戸校	管理棟（S58）、実習棟（S57）、体育館（S58）、寄宿舍（S58）	自動車システム科、建築科

## 3 県立職業能力開発施設再編整備計画策定に係る令和5年度の取り組み状況

職業能力開発施設あり方検討ワーキンググループを3回開催し、現状や課題の整理を行った。

職業能力開発施設再編整備計画策定準備委員会を1回開催し、社会情勢等の変化の対する課題等の整理を行った。

## 4 県立職業能力開発施設を取り巻く環境の変化

- (1) 全国的な人口減少・少子化に伴う高校卒業生の減少、大学進学率の上昇による入校生の減少
- (2) 県内のものづくり産業の集積や産業技術の高度化・多様化
- (3) 社会全体のDXの加速化による産業構造の変化とIT人材の育成
- (4) 県北地域の高等技術専門校の機能や体制を強化し、ものづくりなど岩手県の産業を担う人材の育成・確保

## 5 今後の対応について

産業技術短期大学校のみならず高等技術専門校を含めた県立職業能力開発施設のあり方について、県立職業能力開発施設再編整備計画を策定する中で企業や地元の意見等を伺いながら検討を進める。